

大学院_国際学研究科

| 論文評価の観点 | (履修ガイド掲載の)論文評価基準 | A | B | C | D |
|---------|----------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| 研究テーマ | 国際学研究にかかわる課題について、自らの問題意識が明確になっている | 国際学研究として十分な意味を有するテーマであり、自身の問題意識も明確になっている | 国際学研究として意味を有するテーマであり、自身の問題意識も概ね明確になっている | 国際学研究として意味を有するテーマであるが、自身の問題意識が不明瞭である | 国際学研究としての意味が見いだせないテーマである |
| | 先行研究を踏まえた上で、研究の意義・妥当性・新規性が適切に示されている | 十分な先行研究の検討により、研究の意義・妥当性・新規性が適切に示されている | 先行研究の検討により、研究の意義・妥当性・新規性が概ね適切に示されている | 先行研究の検討により、研究の意義・妥当性・新規性が不明瞭ながら示されている | 研究の意義・妥当性・新規性が示されていない |
| 研究方法 | 研究テーマを明らかにする上で適切な対象が選定されて、十分な資料が得られている | 対象は適切に選定されており、十分な資料が得られている | 対象は概ね適切に選定されており、概ね十分な資料が得られている | 対象の選定、かつ/または、資料の収集に課題がある | 対象の選定が不適切、かつ/または、資料がほとんど収集できていない |
| | 適切な分析方法が用いられている | 分析方法が適切である | 分析方法は概ね適切である | 分析方法は一部不適切である | 分析方法は不適切である |
| 倫理的配慮※ | 十分な倫理的配慮のもと、研究が実施されている | 十分に倫理的配慮がなされている | | 一部に倫理的配慮の欠かされが認められる | 必要な倫理的配慮がなされていない |
| | 研究が倫理審査委員会の承認を得て実施されている | 研究が倫理審査委員会の承認を得て実施されている | | | 研究が倫理審査委員会の承認を得て実施されていない |
| 研究成果 | 研究成果について 結果が、その問題点も含めて明示されている | 結果が、その問題点も含めて明確に示されている | 結果が、その問題点も含めて概ね明確に示されている | 一部不明瞭ながら、結果が、その問題点も含めて示されている | 結果が不明瞭である |
| | 結果が何らかの独自性、新規性をもつ内容になっている | 先行研究との比較により、明確に独自性・新規性が示されている | 先行研究との比較により、一定程度の独自性・新規性が示されている | 不明瞭ながら、一応独自性・新規性が示されている | 独自性・新規性が示されていない |
| 論述の妥当性 | 全体の構成・展開が論理的・体系的である | 全体の構成・展開が十分に論理的・体系的である | 全体の構成・展開が概ね論理的・体系的であるが、一部不足がある | 全体の構成・展開が必要最低限の論理性・体系性を有する | 必要な論文構成、論理性は認められない |
| | 適切な記述である | 文章は十分な論理性、正確性を有し、語彙も適切である | 文章は論理性、正確性を有し、語彙も概ね適切である | 文章の論理性、正確性に一部課題を有する | 論文として必要な論理性、正確性を満たしていない |

※該当する研究方法を用いている場合に評価対象とする